



## 後期学校評価のアンケートにご協力有り難うございました。

昔からよく言われるように、「1 月はいき、2 月はいげ」早くも 3 月も半ばとなりました。年度末を間近に迎え、春の訪れを嬉しく感じる反面、寂しさや気忙しさも感じる季節となりました。皆様方には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育の推進に、温かいご支援・ご協力をいただき誠に有り難うございます。

さて、保護者の皆様には、7 月末の前期学校評価に続き、2 月末に後期学校評価のアンケートを実施させていただきました。お忙しい中、ご協力有り難うございました。

この「学校評価特別号」では、ご回答いただきました項目のすべてについて、集計したものを公表したいと考えておりますが、自由記述欄にお書きいただいたご意見を、出来るだけ読みやすい形にまとめさせていただくために、項目ごとの結果グラフは小さめの表示になっておりますことをご了承ください。前期と同じ質問項目を設け、保護者・教職員・児童のアンケート結果を、並べて表記していますので、対比してご覧下さい。

保護者の皆様の貴重なご意見や、親としての思い、各ご家庭で子どもの健やかな成長を願って取り組んでおられること、日常生活の中で様々に工夫されていることなどを、全体に広げたり深めたりしていくために、前期号に感想文用紙を挟んで配布させていただいたところ、お読みいただいた感想もまた頂戴し、それらをまとめたものもお配りしました。後期の学校評価につきましても、ご意見ご感想等がありましたら、どうぞお聞かせください。いただいたご意見を真摯に受け止め、ご家庭・地域の皆様とともに、子ども達をよりよく育ていくための輪を広げ、来年度の紫明小学校の取組にしっかり結び付けていきたいと存じます。

1. 早寝・早起き・朝ごはん、うがい・手洗い・歯磨きなど、  
基本的な生活習慣を身につけるための取組をする。

### ①保護者：重要度

保護者の方々は、学校がその取組をすることを重要だと考えておられるか

### ②保護者：実現度

取組の成果として、児童がそのことをできている・身につけていると思われるか。

### ③家庭でのほたらきかけ

家庭でも大事に取り組んでおられるか。

### ④児童：実現度

児童自身が出来ていると思っているか。

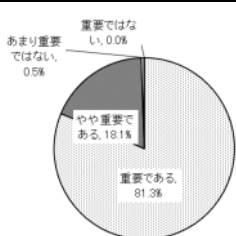
### ⑤教職員：重要度

教職員がその取組を重要だと考えているか。

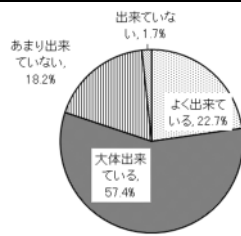
### ⑥教職員：実現度

教職員は、児童がそのことをできている身につけていると考えているか。

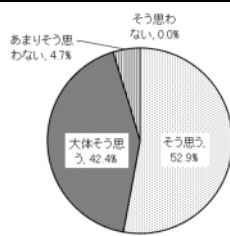
#### ① 保護者：重要度



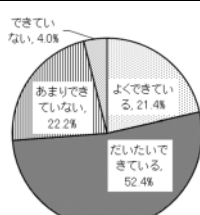
#### ② 保護者：実現度



#### ③ 家庭でのほたらきかけ



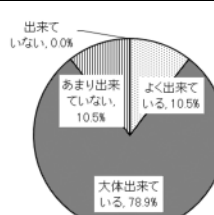
#### ④ 児童：実現度



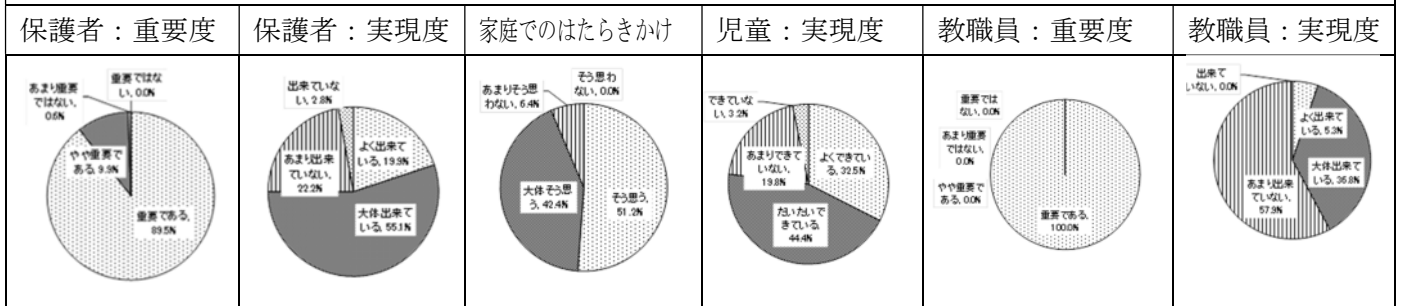
#### ⑤ 教職員：重要度



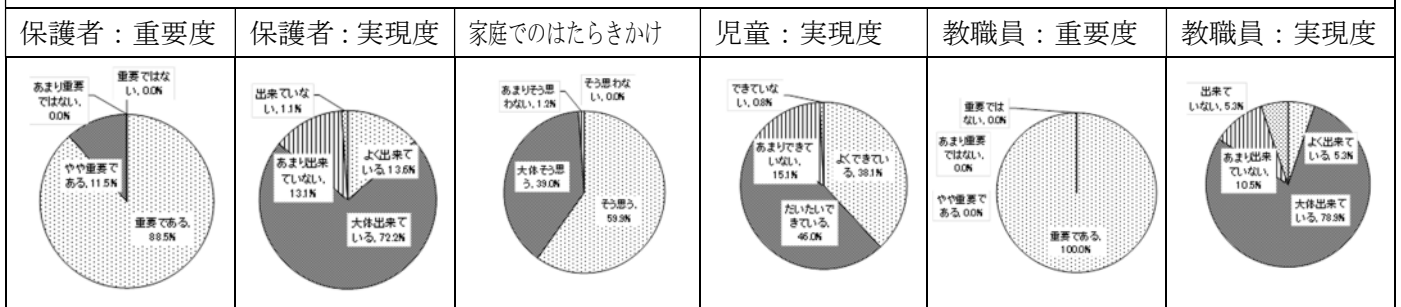
#### ⑥ 教職員：実現度



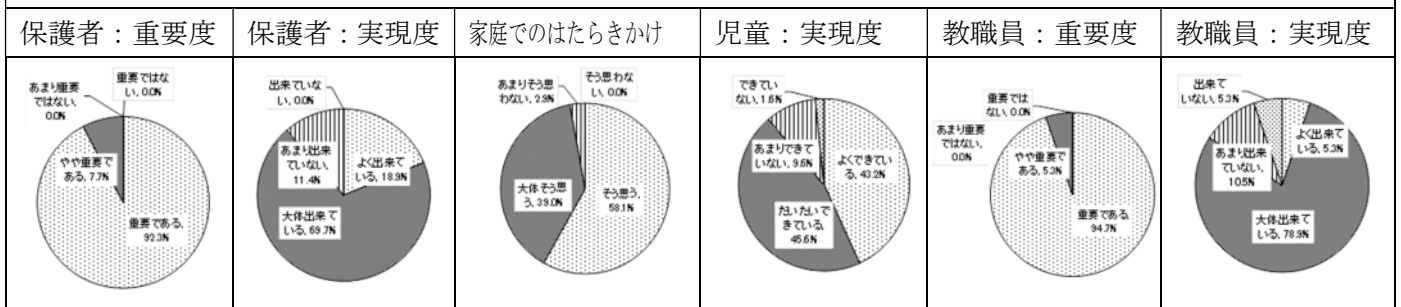
## 2. 元気に気持ちのいいあいさつをする。



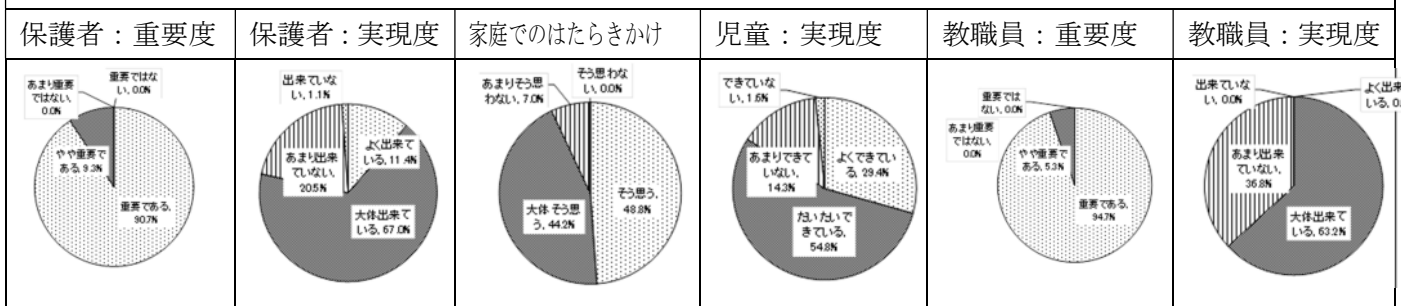
## 3. ルールや約束ごとを守って安全に気をつけた行動をする。



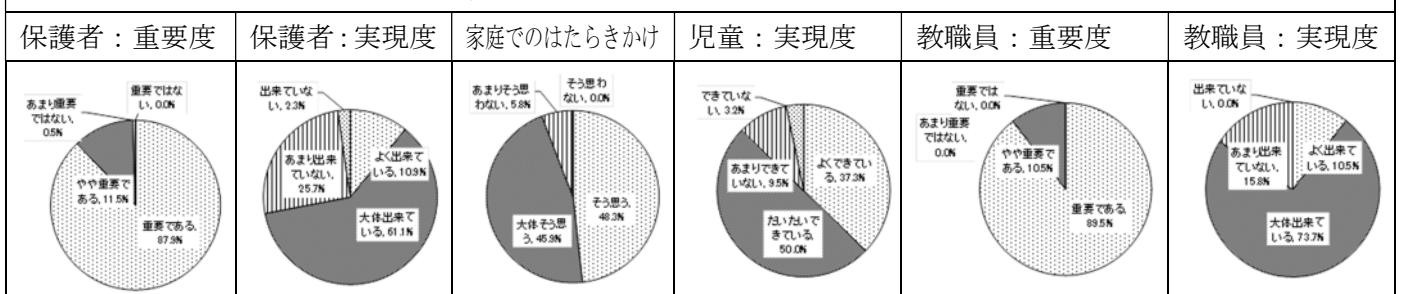
## 4. 一人ひとりの違いを理解し、自分も人も大切にする気持ちや態度を育てる取組をする。



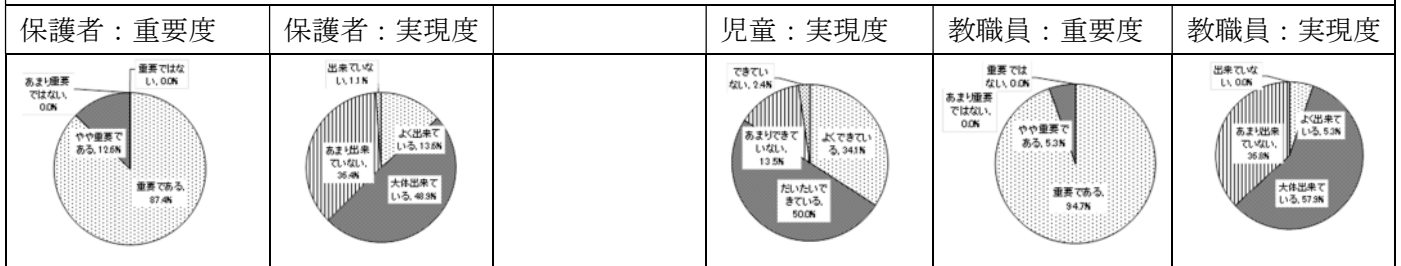
## 5. 自分でしっかり考えて正しく判断し、よいと思う行動がとれるようにする。



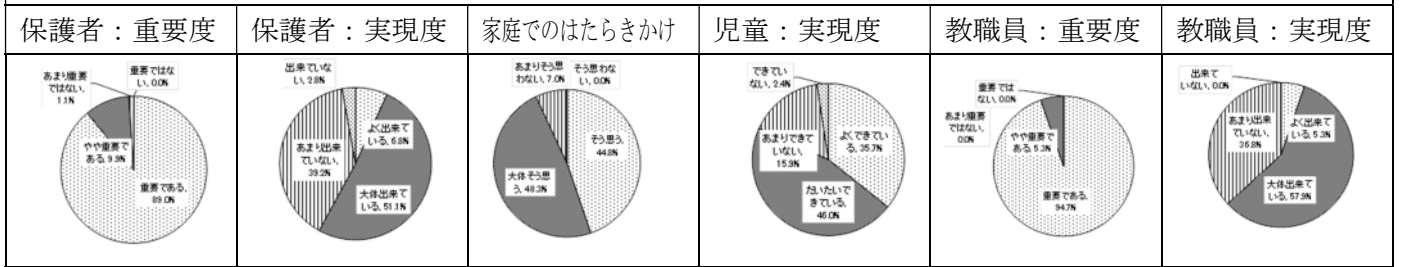
## 6. 目標に向けて根気強く取り組み、最後までやりぬくようにする。



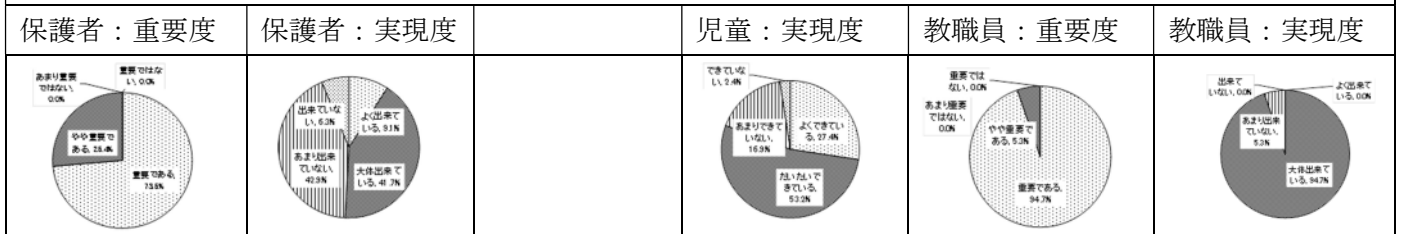
7. 人の話を、内容をとらえて最後までしっかり聞くことができるようにする。



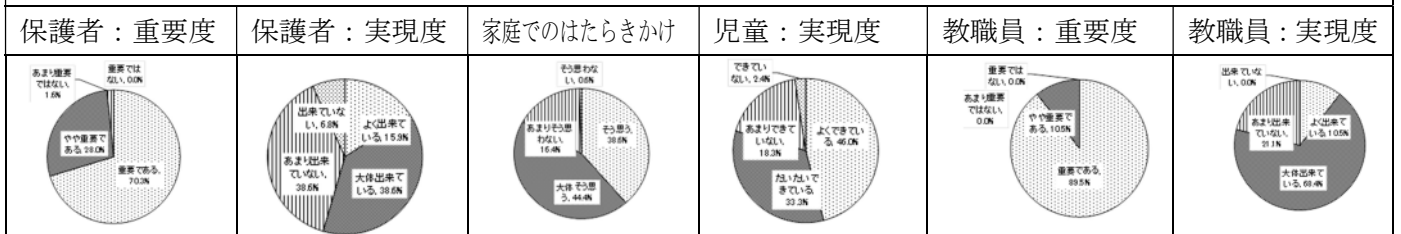
8. 自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝わるようにきちんと話ができるようにする。



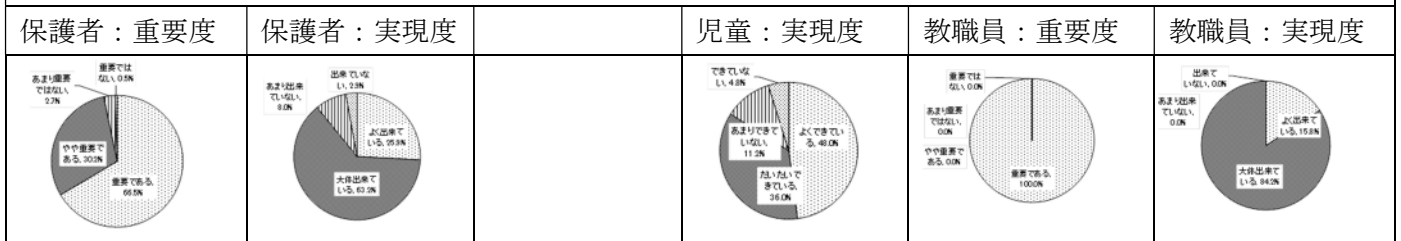
9. 書こうとすることをはっきりさせ、自分の考えや思い、経験したことなどを分かりやすく文章に書けるようにする。



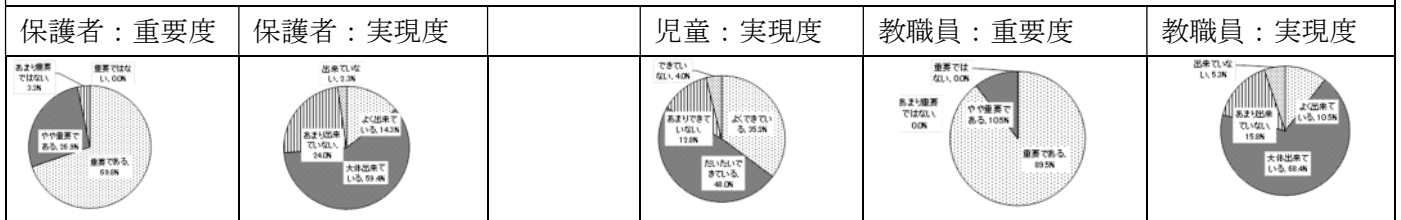
10. 進んで読書に取り組み、本に親しんだり、目的に応じた読書をしたりできるようにする。



11. 「なかよしグループ」の活動を通して、いろいろな学年の人となかよくしたり、協力し合ったりできるようにする。

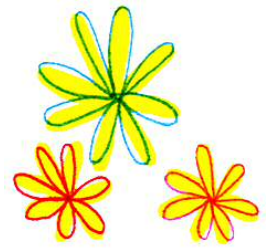


12. 道徳で自分の考えや思いを出し合ったり広げたり深めたりし、自分の日常の行動に結び付けられるようにしていく。



- ◆自由記述欄にご記入いただいたことを、大体のテーマ別にまとめすべて記載させていただきます。  
(ご記入いただいた内容をテーマに合わせて、分けて記載させていただいた部分もあります。)

## ◇学校の取組に関して◇



### 《基本的生活習慣やあいさつに関して》

- 学校で元気なあいさつや規則正しい生活を学んでいるようでうれしく思います。
- 毎朝校門前に複数の先生が立って下さり、元気のよいあいさつを引き出していただいているなと思います。
- あいさつは普通にできるが、気持ちのいいあいさつとはどういう物なのかが不明。
- 学校で元気なあいさつや、ルールを守ることを学んでいてうれしく思います。
- サンサンさわやかウィークなどで、本人や保護者も改めて生活を見直すことが出来、助かります。
- 校内では多くの児童があいさつしてくれます。学校での教育の賜だと感心しています。
- 挨拶は相変わらずです。基本なので、もっと気持ちよく挨拶できる子ども達で、明るい未来を期待します。
- 多くの児童が校内であいさつしてくれます。感心しています。
- あいさつや生活習慣などを学校で力を入れて取り組んでいても、家庭でも同時にしないと意味がないので、がんばりたいと思います。
- この辺りの人は（以前に住んでいた辺りより）大人も子どもも挨拶をしないように思います。子ども達には近所の人くらいにはちゃんと挨拶をするよう言っていますが、以前より挨拶をしなくなったように思います。

### 《学校生活全般に関して》

- いつも大変お世話になっております。小学校にも慣れ、毎日楽しく通っています。準備もままならない入学時期は、今後どうなるのか不安でしたが、今では進んで用意をするようになりました。国語や算数も頑張っていますが、本人は道徳の授業で色々な環境・世界があると知り、勉強になっているようです。来年度も元気いっぱい「行ってきます。」と学校へ行く姿が楽しみです。
- 担任の先生と連絡帳を通して頻繁に連絡を取り合い、こちらの要望だけでなく先生からのアドバイスをいただくようにしています。ためこんで懇談会とかで言うよりも即座に対応できて助かっています。
- 担任の先生によるところが多いかもしれませんが、のびのびと失敗を恐れず発信できるような、全員を褒め否定しない半面、やっつけ仕事も注意されない、というところがあるように思います。
- 小1の子の口から小6の児童の話を毎日のように耳にします。教室が隣なので、親しみがあるのでしょうか。小規模な学校ゆえに、皆が顔見知りなので、アットホームな学校だという印象があります。
- 小さな学校なので、たてわり活動はとても良い環境で、色々と体験できていると思います。特に、一人っ子の息子にとっては、さまざまな年齢の児童と関わるのが貴重なことだと思います。
- たてわりの活動は人見知りの本人にはとても辛いようですが、次は6年生なので、リーダーとして行動し、自信をつけてくれたらと期待しています。
- なかよしグループの取組はとてもいいと思います。
- 担任の先生には、一人一人よく見ていただいていると思います。
- とにかくまじめにいろいろな事に取り組んでいる様子が見られ、嬉しく思います。
- 学校で、道徳や話し合う活動に力を入れていただいているのをありがたく思っています。



- いつもありがとうございます。2年生も終わりに近づいた最近になって、学校での出来事を色々話してくれます。日々楽しんでいるようです。“すいすい遊び”は、休み時間が短くなった—と言っていたので喜んでいきます。メリハリがついてよいと思います。
- 4年生の一年間は、社会見学もたくさんあり、みさきの家への宿泊行事もあり、と本当にたくさんの経験が出来た一年間だったと思います。家でもそれぞれの出来事を色々と話してくれました。色々な事を吸収できる時期だと思うので、これからも様々な経験をしてほしいと思います。
- いつも有り難うございます。細やかな取組にいつも感謝しております。学校での様子を子どもがよく話してくれるので楽しい学校生活が送れているのだろうと何より嬉しく思います。そしてたまに学校へ行くと、先生方が「こないだこんなことがありましたよ。」「すごく頑張って取り組んでいましたよ。」と子どもの様子を知らせてくださるのが嬉しいです。親から見る目とは違う角度なことが多く、いつも叱ってばかりいるけど外では頑張っているんだな、と思えます。上手にほめてやらないといけないうちと親として反省します。今の子どもたちを見ていて思うことは、“何が何でもやらなきゃ”みたいな気持ちが乏しいなあ、と思います。そういう意味では、もう少し厳しさも必要かなあと思います。
- 「走ろう会」はなくなったのでしょうか？
- いつもありがとうございます。今や高校生、中学生となった上の子どもたちを見るにつけ、小学校での一つ一つの取組が成長しても身についているというように実感しております。家庭での子どもとの時間はもちろんですが、集団の中での自分づくりの時間、小学校生活というのはかけがえのないものだと思います。日頃、ちょっとした時に子どもが話しかけてくれる、そういう時に親も手を止めて子どもに向き合い、成長の共有が出来ることを楽しんでいます。紫明小の温かい教育のおかげで我が家の子ども達はとても健全で時々たとえぐれても心根はよい人間となっているように思っています。本当にありがとうございました。
- 今年4年生ですが、毎年よく褒めて下さる先生に恵まれたことを感謝しております。褒められることで育つ自己肯定感ですが、我が子はあまり高くないとかがい、家庭での褒めが少ないと反省しています。
- 学校行事での取組姿勢や、友だちとのかかわりを見ていると、前向きに学校生活を楽しんでいるのを感じます。
- いつもよくご指導いただき、満足しております。
- 宿題の量が多すぎます。
- 小1、小2の子らの口から違う学年の児童、特に小6の児童の話をよく耳にします。人それぞれの評価はおありでしょうが、親しく楽しく接して下さる小6の児童さんの姿が頼もしいです。
- 放課後、友達と遊びますが、屋内（家の中）での遊びが多いようです。体力づくりの面などから、校庭（運動場）で遊ぶことをすすめて頂けると助かります。
- 日頃は先生方をはじめ、たくさんの方々に支えられ、様々な取組にご尽力・ご指導いただいていることに深謝いたします。日々の授業や行事、課外学習など、子どもは楽しみながら活動し、最近は自主性や責任感も備わってきた様子で嬉しく思います。土曜学習などの補習授業も、自ら進んで参加していてとても有り難いです。一方で、少しずつ思春期に近づき、友だちとの関わりが複雑になったり、学習面でも難しくなったりし、小さな悩みが出てくるころかと思います。家庭でも注意深く子どもの言動を見守り、何事も向き合って話し合い、励ますよう心掛けています。今後ともよろしくお願いします。
- 授業中に他学年の子どもが入ってくると子どもに聞きました。先生の注意があまり出来てなく、子どもは授業中に他学年の教室に行くことが駄目な事だと分かっていたのですが、先生の注意があまりにも適当だったので、子どもがおかしいと言っていました。子どもが駄目だとわかる事に対して先生の対応が適当なのはどうか？ 基本的な生活習慣の取組を根本的に見直した方がいいと思います。



- 最高学年である6年生という大切な時期に、何も達成感を感じることなく、不満とジレンマで終わることが残念でなりません。
- 6年間ありがとうございました。一つだけ申し上げたいのですが、大文字駅伝についてです。予選会、どのほかの学校のBチームにも負け、しかも大きく差がついてしまっていた事、これは、学校全体の姿勢が問題だと思います。上位校のように、とは言いませんが、せめてAチーム同士戦える力をつけさせてやって下さい。同じ平均の体格・体力（多分体力テストなどで）のある子らでしょうから。他校と同じような学校としての取組をさせてやって下さい。担任の方のみの責任にするのは難しいかと。以前の走ろう会のようなものをお願いします。それができないなら出場させないで下さい。子どもらにみじめな思いをさせるのみではないでしょうか。
- 6年生になってからの子どもの心の変化、成長に、保護者、学校の先生方も対応に苦慮されていると思います。他小学校でも不安定なクラス状況を改善された取組等があると思います。学校交流の際、情報交換等、学校で可能な、子どもにとって少しでも良い影響を与えていただくことを望みます。先生は熱心にご指導いただいておりますが、やはり5年→6年の際の担任の先生の変更は、子ども達にとってよかったとは思うことができません。

#### 《安全にかかわることに関して》

- 児童館の行き帰り、本人はルールや約束ごとを守って行動しているそうですが、お友達がふざけていて、言っても聞いてくれなく、あぶないと思うこともあり、言っても聞いてくれない…。児童館の行き帰りがとってもつかれると言っております。
- 先日の道德の研究発表会の際に、学校前の道路が時間で車が通れないことを知らない方がとても多いのに驚きました。ニュースでも学校前で事故を最近よく耳にする為、保護者で行っている声かけ運動の際に注意した方がいいなと思いました。登校時はセーフガードさんがいてくださって安心して子どもを学校に送ることが出来ます。寒い日も暑い日も感謝しております。
- 通学路を守らずに登下校している子を見かけます。特に大谷大学の裏の道からむくの木公園に抜ける裏道を通っている子が多くいるのでとても気になります。



#### ◇親としての思い（家庭の教育方針・工夫していること・お悩み…等）に関して◇

- 家では早寝早起きや時間の管理について取り組んでいます。
- 家ではやらなければならない事の順位づけを徹底し、同年代のルールをしっかり理解できるように、とにかく友達と関わらせています。
- 家庭では生活習慣の例外は作らないようにして、規則正しくリズムを崩さないように気をつけています。
- 家庭では人の気持ちを考えて行動しようと声かけをしています。
- わが家では、ベランダで野菜を育てたり、海・川・山など自然遊び、動物とのふれあいを大切にしています。畑で土にさわる、川で魚を見つけてつかまえる、とった物を料理して食べる。自然はいろいろと教えてくれることが多いです。
- この一年間は、しっかりあいさつすることや、道路を歩くときにしっかり安全に交通ルールを守ること、規則正しい生活、勉強の習慣をしっかり身につけることを家庭では心がけました。あいさつはまだまだと感じることもありますが少しずつ自分なりに心がけてもいる様子が見られ、成長を感じます。1日のルーティンはしっかり守れるのですが、声かけがまだまだ必要なことが多いです。

- 相手の気持ちを考えて話すこと、嫌なことをされたら嫌だと言うこと、お友達を大切にしてお自分も大切にできるように、話をしています。
- 人の話をよく聞いて、しっかり自分も話せるように教えています。落ち着いて、誠実な行動をとるようにと伝えています。
- 基本的生活習慣を重視し、消灯時間は厳密に守っています。
- 人が嫌がることをしない。お友達を大切にする。
- 家庭ではなるべくたくさんの出来事を話して共有しています。
- 家庭でもよい生活習慣を作りたいと思うのですが、早寝早起きが出来ないで、今後でもできる範囲で努力していきたいです。一人っ子なので、学校、学童、習い事や野外サークルなど、なるべく多くの友達と接することで、自分をしっかり持って、人との違いを理解していったらいいと思います。
- 家での生活リズムもほぼ幼稚園のころから変わらず、朝7時には起き、夜9～10時には寝るように心がけています。テコンドーや空手など通いながら、子どもは子どもなりに時間配分もできつつあります。このままの生活リズムを保ちながら生活したいと思います。
- あいさつはとても重要なことだと思っていますので、家庭でも意識してするよう心掛けています。生活習慣のみだれが、勉強や遊び、学校生活、全てに影響してくると思っていますので、家庭で整えるように努めています。
- 勉強でも動作でもきっちり丁寧にできるように声かけを心がけていますが、性格的に難しいみたいですが、根気よく声かけしていこうと思います。
- 帰ってきた子どもの様子で、学校での生活を想像し、家ではなるべくリラックスして過ごせるようにしている。
- 学校での出来事を家で子供が気軽に話せるようにしています。
- 大人になるという事は、自由になる半面、自分自身で責任を負っていかなければならない大変さと重要性について話している。
- 誰に対しても気持ちのいいあいさつが出来るように小さいころから言ってきました。これからは笑顔であいさつできる事の大切さを話していきたいです。
- できるだけ学校での出来事、困ったことは聞くようにしている。私が小学生だった頃の話や、その時どう持ったか感じたか、などを話し、子どもが少しでも聞く耳を持つように工夫しながら対処している。
- 周りのみんなも、自分と同じ人間、大切な一人一人、ということは伝えていっています。それが自然と身について、友達を大切にする人になっていってほしいと思っています。
- 気持ちのいいあいさつができる様、常日頃より言葉かけして実践するようにしています。
- 家庭で気をつけている事は、3年生にもなったので、少しずつ家庭での仕事（お手伝い）を多くしていこうと思っていますが、遊びや宿題があり、なかなか実践できないでいます。そんな中でも手伝いをしてくれた時には、親から「ありがとう」とお礼を伝えるよう心がけています。
- 月に1回は近くの図書館に子どもと一緒にいき、自分達が選んだ本をたくさん借りて寝る前に読むようにしています。でも「道徳は好きじゃない。人の気持ちなんてわからんもん。」と言うこともあり、反抗しての言葉かもしれませんが、相手の立場に立って考えることを教えていくのは難しいなと感じます。
- 家庭では、考え方や価値観の多様性の存在と、それぞれを尊重する必要性、重要性について理解できるように努めています。
- あまり口数が多くないので、そういう子が学校で起こったことを話すときは、しっかり耳を傾けるように気をつけている。
- 読書を促すのが難しいですね。





- 家に帰るとネガティブな発言が多い。「～が嫌やった」「めんどくさい」等。一通りすべて聞き入れるようにして「楽しいことは？」と一つでも毎日良い事も聞くようにしている。毎日1回は泣いて訴えてくる。毎日の様子を見逃さない様、寝るときはしっかり二人で話せる時間を作っている。
- 家庭では、漫然と過ごしている時間が多く、やらねばならない事を先送りして避けて通ろうとする傾向が往々にあります。自分なりの目標や夢を持って、前に進んでいってほしいと願っています。
- 高学年になりますと、自我も芽生え、親の価値観の押しつけが通用しません。本人に任せようとしていますが、やはり楽な方に流れてしまう傾向があり、バランスの取り方の難しさを感じています。
- 家では言うことをきかず、幼稚園の子でもできる生活習慣をさぼったりしています。口うるさく言うと言いつ返し、かんしゃくを起こし、どう接するのが良いのか分かりません。
- 会礼、思いやりは、我が家の基本中の基本。人に迷惑をかけない！人の立場に立って物事を考えよう！という課題を徹底していくのはいつまでも変わりません。
- 子どもから話しやすい雰囲気作りをしたいと思っています。日々の生活の中で、時間に追われることが多いと、指示言葉で声をかけてしまいがちになるので、せめて休みの日は、一緒に過ごす時間を多く持つことを心がけ、ゆったりと聞くことに徹しています。
- 子どもが出来る範囲の家事はやってもらっています。ただ、色々と理由をつけて、就寝時間が遅くなっていくことに困っています（「～君は夜遅くまで起きている」など）。“サンサンさわやかウィーク”のような取組をもう少し増やして欲しいですね。
- 高学年と言えど、まだまだ私が働きかけていた約束ごとや話をしたことを、理解できているようでできていなかったという残念なことがありました。全く本人は悪気なくとった行動でしたが…。事が起こり、もう一度しっかりと教えて二度としないようにと反省し涙していました。いっぱい努力して成長しているのも感じていた中で、まだまだ未熟な幼さを私自身痛感させられました。
- 3年生になると、一人で友だちのお家へ遊びに行く機会が増えます。お邪魔した時には必ず「こんにちは。失礼します。」帰る時には「ありがとうございました。さようなら。」と言うように指導し、5時には帰るようにしています。子どもによっては、うちに遊びに来て、あいさつなしに入ってきて、知らぬ間に帰る、7時になっても帰らないなどがあります。そういったご家庭では、遅くまで子どもが帰らない、どこに行っているのかあまり関心が無いのかも…と思っています。参観でお会いしても、きちんとあいさつしてくれる子の親御さんは「この前はありがとう」などと声をかけてくださいますが、遅く帰る子の親御さんは知らぬ顔の場合が多いです。
- 女子が集まるとエスカレートして他人の悪口の言い合いになるので、その辺を厳しく取り締まっております。自分が言ったことは必ずどこかでずれて内容が変わって伝わってしまうことの「こわさ」を特に…。
- 「これぐらいやっておけばいい。」とある程度のところまでやって、満足しているように見えることがあります。出来る限りのところまで挑戦していくようになれば、経験も増すのにといい、声かけに苦労しています。
- 「気持ちのいいあいさつ」大事なことはわかっていますが、朝は寝坊、夜は夜更かしで、「早く起きなさい！」「早く寝なさい!!」の怒号が飛びかっているのであいさつどころではありません。いろんな本を読んで、色々感じたり考えたりしてほしいと思いますが、あるマンガにはまっていて、読む本、活字も全部そのマンガがらみのものになってしまっているのが残念でなりません。





## ◇学校評価のアンケートに関して◇

- 上記の質問にあるようなことは、中学年までで身につけておかないといけないなと思います。
- 上記のことがなぜ大切か、説明して注意したりしますが、なかなか満足するまではいきません…。
- 項目としてチェックしていくのは、難しいですね。「いい子」を求められていると本人が苦しくなることは避けたいので、「大切な存在」として関わり、自身の存在や友人、大人の人もその大切な一人としてとらえてほしいです。子どもでも、信頼する存在としていてねいに関わるよう、気をつけています。
- このアンケート項目では、学校評価にならないと思います。我が子を通してということかもしれませんが、学校としての取組はどうだったかを評価するようになっていません。
- いつもお世話になりありがとうございます。授業参観に出席できていないので、学校での取組が出来ているかどうかについては、正直に考えると分かりにくいです。担任の先生との個人懇談会でお話を聞く分にはよく頑張っている様子を伺えますが、実際に満足しているかと考えるとこたえるには困る部分があります。子どもが取り組んだことが、目に見えて結果につながると次の取組につながると思います。初めは嫌いだっただスキーがすべることが出来るようになって好きになるように、勉強でも同じようになればと思います。家庭でも先生から見ていただきご助言いただける所がありましたら、幸いです。
- このたびのアンケートは質問に二つの問いがあり、答えづらいところがありました。
- 注意したことはまだ素直に反省し、守ってくれる年代である為、比較的満足の多いこの項目も、高学年になるとどう変わってしまうのか…と考えさせられました。
- 反抗期まっただ中で、人の話も聞かない、自分の考えも説明する気がないので、上記の質問にあるようなことは、中学年までで身につけておかないといけないなと思います。



## ◇結果の考察と今後の取組について◇

前期・後期と、同じ設問でアンケートを実施しましたが、項目ごとの数値や傾向に特別に大きな変化は見られませんでした。しかし、全体としては、前期よりも後期の方が「よく出来ている」のポイントが少しずつ下がっています。前期よりも学校生活や新しい学年・学級に慣れ、様子や取組がよく分かったことによって、評価する内容がはっきりして厳しくなった面もあると思います。一方、『目標に向かって、根気強く取り組み、最後までやりぬくようにする』の項目については、「よく出来ている」と答えた児童が増え、目標としてきたことに、後期の最後まで全力で頑張っていこうとしていることが感じられます。また、ルールや約束を守ること、自分の考えをしっかりとって、相手に伝わるように話すことなどの項目で、ご家庭でも重要視してはたらかせてくださっているのは、有り難いことです。

アンケートの項目について、「どの項目も大切なこと、身につけさせていきたい。」というご意見もあり、「学校評価になっていない」「(重要度、実現度と二つの項目があり) 答えにくい」というご意見もありました。すべての児童にとっての「よりよい学校づくり」のための調査として、学校教職員だけでなく、保護者の皆様にも、ともに考え、取り組んでいただく為の大切な機会・資料としてご理解いただければ有り難いです。ご意見の中にも複数ありましたように、低学年のうちに、中学年までで、身につけておくべきことがたくさんあると思います。学校としても、低学年からの積み重ねを今後一層大切にしていきたいと思っています。

また、思春期を迎え、様々な心の揺れに悩む高学年の難しさについても、何人かの方が触れておられます。小規模な学校ですので、これまでも担任だけに任せるのではなく、学年・低中高のまとまり、児童会、行事部、学校全体で意見を出し合い、協力し合って進めてきています。今後より一層、学校全体として、子ども達の様子を常に把握して共通理解を深めるようにし、見守り励まし指導していくことについて、各自がより厳しく自覚し、全力で取り組んでいきたいと思っています。

## 学校運営協議会ニュース

3月10日(木)午後7時より、学校運営協議会理事の皆様にお集まりいただき、平成27年度第2回の学校運営協議会理事会を行いました。後期の紫明小学校の取組と児童の様子について学校から報告をするとともに、保護者の皆様からいただいた後期学校評価と児童の学校生活ふり返りアンケートのまとめについての考察をし、紫明小学校の今年度の取組をふり返り、来年度取り組んでいくべきことについて話し合いました。理事の皆様全員にご出席いただき、貴重なご意見を頂戴しました。簡単なまとめとなりますがご報告いたします。



毎回共通して言えることですが、大人(保護者・教職員)の『実現度』の評価と児童のふり返りの結果には差があり、児童の方が出来ていると答えた割合が高くなっています。「子ども達は示された目標に対して頑張ってやっているという意識の表れだろう。」というご意見をいただきました。また、学校の取組をいつも本当にたくさんの紫明の地域の皆様に支えていただいていることが話題となりました。地域のつながりが薄れてきている現代ですが、紫明校区では安全の見守り、子ども達のための行事、学校活動へのボランティア、調べ学習へのご協力などあらゆる方面でお世話になり、今年度も新たに紫明サービスセンターやのぞみ保育園とも交流をさせていただきました。その中で子ども達は貴重な経験をし、人とかかわり方、つながりの大切さを学んでいます。また、昨年度から6年生一人ひとり全員がリーダーとなる形で、力を入れて取り組んできたたてわりの「なかよしグループ」の活動も定着し、今の5年生は4月から自分たちがリーダーだ、という自覚を持っています。たてわり活動、保育園・幼稚園・他の小学校・中学校、大学生、地域の方々、すこやか学級やサービスセンターの高齢者の方々など、いろんな年代の方と親しく接して活動した中で感じたり、身につけたりしたことが、人と接するときの気持ちのいいあいさつや言葉遣い、相手を思いやる態度となって生きてくるように、今後も一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。

幼児の段階でしっかり遊び、創造性や感性の豊かさ、人間関係を築く素地を養うことは大変重要だが、今の社会では学校で時間を確保し、環境を整えることが必要になってきている。そういう意味で、今年度から設けた「すいすいあそび(掃除時間までを使ったロングの昼休み)」はとてもいい取組だ、という評価をいただきました。次年度も続け、その中に月に1回は「なかよし遊び」が自然に入っていくようになればいいなと考えています。

また、実際の社会に出るとどうしても人との争いや競争はある、そのことを見通して子ども達をよりたくましく成長させるためには、本気で何かにチャレンジしたり、競い合って記録や結果を残したりできるような取組も重要ではないか。運動面だけでなくいろいろな取組があるので、何か誇れるもの、自信となるものを身につけるような取組も考えていってほしい。というご意見もいただきました。

平成27年度も残りわずかです。保護者・地域の皆様には、いつも温かくご支援・ご協力いただき、お忙しい中、色々な行事や参観に多数お越し下さいまして、本当に有り難うございました。これからも、紫明校児童みんなが、学校が大好き、友だちが大好き、と感じて毎日を安心して楽しく過ごし、生き生きと活動してそれぞれの力を伸ばしていくことを心から願って取組を続けます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

